

平成 30 年度 知多地域産業労働会議における主な発言要旨

日時：平成 30 年 8 月 28 日（火）

午後 1 時 30 分から午後 3 時 30 分まで

場所：愛知県知多総合庁舎 3 階 大会議室

（見直し後のビジョン・イメージについて）

- ・このビジョンを小規模事業者とどう共有するかということが重要である。自らその気になり、自発的に動きたくなる言葉やフレーズがあると刺激になる感じがする。産業労働がメインだが、街づくりや女性の雇用を刺激する内容があってもいい。
- ・このビジョンでは、個々の事業者が将来どうなっているか、自身の最終的姿はどうなるのかが描けていない。そういうところが見えないから難しいと感じるのではないかと思う。
- ・このビジョンでは、具体的に、また、どういうスピード感をもって、県の施策及び地元行政に対する支援施策として展開されるのか分からない。
- ・誰が見ても分かりやすく作成していただけると、みんなが同じベクトルの方向に向ける。
- ・横文字と英文字が多いこともあり、事業者がすぐ理解できるのかと疑問を感じた。中小企業にどのように伝えるのか、中小企業が履行できるのかが課題ではないか。
- ・副読本のような、噛み砕いたものを作っていただけるとよい。
- ・コーディネータが小規模業者を巡回して、ビジョンの高度な部分に関する対応について、適切なアドバイスをしてくれるようにしてほしい。
- ・我が町のほとんどの事業者は、個人事業者や小規模事業者であるが、高齢化が進んでおり、事業展開に消極的になっている。現状でいいという事業者が多い。
- ・将来、ルーチン的工作は機械がやることになるので、人間は、どのような社会を作るためにどういう装置がいるのかという発想をしていかなければならなくなる。想像力や発想力を養えるような環境の提供の仕方をビジョンに盛り込んで欲しい。
- ・ビジョンについてはこれでいい。行政等、支援する側が理解すればいい。それが施策に反映され、企業が恩恵を受けることができると分かればよい。

（地域・事業所の現状）

- ・事業者は知恵をしぼり、事業を一生懸命展開しようとしている。人手不足・高齢化についての「ヒト」の応援、減税・企業誘致についての「モノ」と「カネ」の応援が望まれている。
- ・ビジョンの見直しの考え方に資する取組については、ご当地ビズ（ビジネス）を設立できるか模索してきたが、単独で行うのは非常に難しい。
- ・柱 2 の商店街活性化のための魅力ある個店創出に関連して、市では商業まつりへの事業費補助など色々な補助金を支出している。
- ・知多地域は、観光について当然関心が高い。平成 28 年 12 月に IR 推進法が成立し、平成 30 年 7 月に IR 実施法が成立したことを、環境の変化として大きくとらえてほしい。
- ・内海では、現状、外国人の観光客がほとんどいない。ホテル・旅館等が多い町なので、インバウンドの問題は避けて通れない。対応を準備していく必要がある。
- ・企業の人手不足や生産年齢人口の減少が言われているので、高齢者、女性、障害者が働きやすい環境を作っていく必要がある。現状では、進めるスピードが遅い。
- ・高齢者、女性にも活躍してもらうことは非常に重要である。女性が子供を産み、育てながら働ける環境づくりとして、早期復職や在宅勤務は制度としては充実しているが、高齢者、女性の働く意欲

の更なる向上が必要となる。

- ・ 経済社会の変化に伴い、従業員の確保に苦勞している企業が多く、外国人採用に頼らざるを得ない企業も出ている。人手不足で閉店を余儀なくされる店舗もある。
- ・ 自動運転化が進むと車の下請け関係の様子が変わるだろうという危機感を持っている事業所もある。

(中小・小規模企業の企業力強化)

- ・ 柱 1 で研究開発支援の強化と書いてあるが、中小・小規模事業者では研究開発はなかなかできない。研究開発支援体制を充実させたほうがいい。また、柱 7 の海外高度人材の受入促進については、外国人に来てもらったら困るという地域の意見もあり、単に受け入れればいいというものではない。
- ・ 柱 1 で「あいち事業承継ネットワーク」による集中承継支援とあるが、事業承継税制の拡充、法人企業の事業承継の応援が中心になっている。個人事業主の事業承継が円滑に進んでいく、モデルケース等を拡充して欲しい。

(地域創生に資する産業の振興)

- ・ 柱 2 で商店街活性化のための魅力ある個店創出、サービス産業の付加価値創出・生産性の向上を掲げているが、具体的な内容が欲しい。
- ・ 柱 2 で地域に根付いた地場産業や伝統工芸産業の成長支援とあるが、全ての中小企業に対して成長支援をできる施策を考えて欲しい。また、商店街活性化のための魅力ある個店創出については、町に商店街はないが、できるだけ多くの店舗が活性化できる措置を考えて欲しい。
- ・ 企業力を容易には強化できない中小企業や、地域に根付いていて成長しにくい地場産業も応援して欲しい。また、持続していける方法を示して欲しい。

(まとめ)

- ・ ビジョンは理解しやすいものとして欲しい。
- ・ 中小・小規模事業者で解決できない問題は、県としての対応を検討して欲しい。
- ・ このビジョンでは、生産性の向上など、発展をしていく視点が貫かれている。しかし、こういう経済環境の中では、維持していくことも大切なことだと思う。サステイナブル、つまり持続可能がキーワードになるのではないか。